

情報処理学会東北支部 平成22年度 通常総会

日時 : 平成22年5月19日(水) 11:30 ~ 12:30
場所 : 東北大学 工学部 電子情報システム・応物系 103 会議室
住所 : 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-05

次第

- I 開会
- II 総会成立報告 資料1
- III 支部長挨拶
- IV 議長選出
- V 議事
 - (表彰)
 - 1. 平成21年度 東北支部学生奨励賞の選考結果報告 資料2
 - 2. 平成21年度 東北支部奨励賞の選考結果報告 資料3
 - 3. 第5回 東北支部野口研究奨励賞の選考結果報告 資料4
 - 4. 平成21年度 東北支部奨励賞 贈呈
 - 5. 第5回 東北支部野口研究奨励賞 贈呈
 - (審議事項)
 - 1. 平成21年度活動報告について 資料5
 - 2. 平成21年度決算について 資料6, 資料7
 - 3. 平成22年度役員改選について 資料8, 資料9, 資料10
 - 4. 平成22年度事業計画について 資料11
 - 5. 平成22年度予算について 資料12
 - 6. その他
 - 1. 平成22年度電気関係学会東北支部連合大会について 資料13
 - 2. 推薦論文制度の改定と論文誌特集号について 資料14
 - (学会概況報告)
 - 1. 学会概況報告
- VI 閉会

情報処理学会東北支部 平成22年度 通常総会の成立について

総会出席者数 : 155 名 (委任状 142 名を含む)

支部正会員数 : 615 名 (4月1日現在。退会, 除名予定者を除く。)

以上により, 正会員数の10分の1を超えているので, 本総会は成立する。

(東北支部規約より抜粋)

第9条 2項 支部総会は, 支部正会員の10分の1以上の出席をもって成立する。ただし, あらかじめ委任状を提出した者は出席者とみなす。

情報処理学会東北支部 平成21年度 学生奨励賞 受賞者

趣旨 情報処理分野を学ぶ東北地区の学生が、より一層、情報処理分野の勉学に勤しむように奨励する。

対象 情報関連学科を持つ大学または高専の卒業年度生で、成績優秀な学生。

(学生奨励賞に関する要項より要約・抜粋)

情報関連学科を持つ主要大学等 13 校に成績優秀者の推薦を依頼したところ、下記 12 名の推薦があった。選考委員会においてメール審議を行い、推薦のあった全ての学生に学生奨励賞を授与することと決定した。

- 石原 拓美 (弘前大学工学部電子情報工学科)
- 工藤 裕太郎 (八戸工業大学工学部システム情報工学科)
- 久保田 能揮 (岩手大学工学部情報システム工学科)
- 下川原 健 (岩手県立大学ソフトウェア情報学部経営情報システム学講座)
- 村上 龍希 (秋田大学工学資源学部情報工学科)
- 酒井 修二 (東北大学工学部電気情報・物理工学科)
- 伏見 侑恵 (東北工業大学工学部情報通信工学科)
- 吉田 悠亮 (仙台高等専門学校専攻科情報システム工学専攻)
- 渡部 和弘 (山形大学工学部情報科学科)
- 佐藤 翔平 (鶴岡工業高等専門学校制御情報工学科)
- 五十嵐 翔一 (会津大学コンピュータ理工学部コンピュータ理工学科)
- 清水 雄介 (福島大学理工学群共生システム理工学類)

情報処理学会東北支部 平成 21 年度 支部奨励賞 受賞者一覧

趣旨 情報処理に関する学問，技術の奨励のため，有為と認められる新進の科学者
または技術者に贈呈する。

対象 支部連合大会および研究会に発表した者で，大学の学部卒業後 10 年未満の者。

（表彰規定より要約・抜粋）

平成 21 年 8 月 20 日，21 日に開催された電気関係学会東北支部連合大会と，平成 21 年 1 月～12 月に開催された研究会（計 6 回）のそれぞれにおいて，座長より合計 10 件（連合大会より 6 件，研究会より 4 件）の推薦があった。

それぞれの推薦論文について事前に有識者による査読を行い，その結果などをもとに，平成 22 年 3 月 30 日に開催された選考委員会および平成 22 年 5 月 13 日に開催された役員会で以下の受賞者を決定した。

東北支部連合大会

- 李 思瑤（岩手県立大学）
「固定頻出パターン集合を持つシステムにおける頻出パターン決定時点の検出に関する考察」
- 中山 誠也（東北大学）
「ノードの性能を考慮した階層型分散認証手法の設計と評価」
- 鈴木 絢子（東北大学）
「電子顕微鏡画像のための位相限定相関法を用いた倍率推定アルゴリズムの高精度化」
- 柴田 智恵子（秋田大学）
「ALOS AVNIR-2 による鳥海山沿岸海域における地下水湧出地点の検出」

研究会

- 大館 賢史郎（秋田大学）
「画像特徴を考慮した情景画像における看板内文字列領域の抽出アルゴリズムに関する検討」

情報処理学会東北支部 第5回野口研究奨励賞 受賞者

趣旨 優秀な学術論文を出版した東北支部会員の若手研究者に対して賞を授与し、より一層の情報処理分野に関する研究開発を奨励する。

対象 過去5年程度以内において、学術雑誌・国際会議予稿集に掲載された論文の主要な著者で、35歳以下の若手研究者。

(野口研究奨励賞の要項より要約・抜粋)

第5回野口研究奨励賞に5件の応募があり、平成22年3月30日に開催された選考委員会および平成22年5月13日に開催された役員会で慎重に審議した結果、以下の1名を受賞者とすることを決定した。

受賞者 内澤 啓 (東北大学 大学院情報科学研究科・助教)

対象論文 “Exponential lower bounds on the size of constant-depth threshold circuits with small energy complexity,” Kei Uchizawa, Eiji Takimoto, Theoretical Computer Science, vol. 407(1-3), pp. 474-487, 2008.

情報処理学会東北支部 平成21年度活動報告

1 支部総会

日程 : 平成21年5月27日(水)
会場 : 東北大学工学部 電子情報システム・応物系 103 会議室
参加者 : 162名(委任状149名を含む)

2 役員会等

2.1 第1回 幹事会

日時 : 平成22年3月30日(火) 12:30 ~ 13:30
会場 : 東北大学工学部 電子情報システム・応物系 2号館 5階 507 会議室
議題 : 1. 平成22年度支部役員改選について
2. 平成21年度支部奨励賞, 支部学生奨励賞,
第5回 野口研究奨励賞について
3. 平成21年度活動報告について
4. 平成22年度活動計画について
5. 平成21年度決算について
6. 平成22年度予算について
7. その他

2.2 第1回 役員会

日時 : 平成22年5月13日(木) 16:00 ~ 17:00
会場 : 東北大学工学部 電子情報システム・応物系 103 会議室
議題 : 1 報告事項
1. 支部役員改選結果報告
2. 支部長会議, 役員検討会報告
3. 支部学生奨励賞の受賞者の報告
2 審議事項
1. 支部奨励賞の受賞者の決定について
2. 第5回 野口研究奨励賞の受賞者の決定について
3. 平成21年度活動報告について
4. 平成22年度活動計画について

5. 平成 21 年度決算について
 6. 平成 22 年度予算について
 7. 平成 22 年度支部総会について
 8. 平成 22 年度電気関係学会東北支部連合大会について
- 3 その他
1. 支部連合大会の経理処理の明確化について

3 事業計画に基づく事業（行事、表彰等）

3.1 電気関係学会東北支部連合大会

- 日程 : 平成 21 年 8 月 20 日（木）, 21 日（金）
会場 : 東北文化学園大学
一般講演 : 306 件
参加者数 : のべ 582 名
特別講演 :
- 日時 : 平成 21 年 8 月 20 日（木）15:30 ~ 17:00
場所 : 東北文化学園大学 1 号館地下 1 階大講義室
講師 : 四ツ柳 隆夫 氏（みやぎ産業振興機構理事長）
演題 : 持続可能な開発 - 新たなフロンティアに向けて -
参加者数 : 約 100 名

3.2 研究講演会

今年度は 10 回開催した。

- 第 342 回研究講演会
日程 : 平成 21 年 5 月 27 日（水）
会場 : 東北大学工学部電子情報システム・応物系 103 会議室
講演者 : 小島 啓二 氏（(株)日立製作所中央研究所）
講演題目 : 企業研究所の現状とアカデミアへの期待
参加者数 : 約 17 名
- 第 343 回研究講演会
日程 : 平成 21 年 5 月 27 日（水）
会場 : 東北大学工学部電子情報システム・応物系 101 大講義室
講演者 : 嶋 正利 氏（マイクロプロセッサアーキテクト）
講演題目 : マイクロプロセッサの誕生と創造的開発
参加者数 : 約 260 名

- 第 344 回研究講演会
 - 日程 : 平成 21 年 10 月 13 日 (火)
 - 会場 : 秋田大学工学資源学部 5 号館 1 階 101 講義室
 - 講演者 : 大力 修 氏 (新日鉄ソリューションズ株式会社 フェロー)
 - 講演題目 : 高度情報通信人材を求めて
 - 参加者数 : 約 90 名

- 第 345 回研究講演会
 - 日程 : 平成 21 年 10 月 20 日 (火)
 - 会場 : 秋田大学工学資源学部 5 号館 1 階 101 講義室
 - 講演者 : アントニオ・ルビオ 氏 (スペイン カタロニア工科大学 教授)
 - 講演題目 : ヨーロッパ連合の高等教育システム (ボローニャプロセス) と
その中で行われている多国間共同研究の紹介
 - 参加者数 : 約 92 名

- 第 346 回研究講演会
 - 日程 : 平成 21 年 10 月 23 日 (金)
 - 会場 : 山形大学工学部 116 教室
 - 講演者 : 伊藤 孝行 氏 (名古屋工業大学大学院 工学研究科 准教授)
 - 講演題目 : コンピューテーショナルメカニズムデザイン
 - 参加者数 : 約 63 名

- 第 347 回研究講演会
 - 日程 : 平成 21 年 11 月 10 日 (火)
 - 会場 : 弘前大学理工学部 1 号館 10 番講義室
 - 講演者 : 伊藤 智義 氏 (千葉大学大学院 工学研究科 教授)
 - 講演題目 : 専用計算機システムによる科学技術 - 宇宙・生命・3次元映像への応用
 - 参加者数 : 約 85 名

- 第 348 回研究講演会
 - 日程 : 平成 21 年 11 月 27 日 (金)
 - 会場 : 岩手大学工学部 4 号館 106 室
 - 講演者 : 三谷 純 氏 (筑波大学大学院 システム情報工学研究科 准教授)
 - 講演題目 : 可展面による形状モデリングと曲面折り紙の設計方法
 - 参加者数 : 約 50 名

- 第 349 回研究講演会
 - 日程 : 平成 21 年 12 月 4 日 (金)
 - 会場 : 東北工業大学長町キャンパス 1 号館 R121 教室
 - 講演者 : 伊東 俊彦 氏 (東北大学 大学院経済学研究科 講師)
 - 講演題目 : 中国におけるソフトウェア・オフショア開発の現状
-上海・西安の現地照査より-
 - 参加者数 : 約 19 名

- 第 350 回研究講演会
 - 日程 : 平成 21 年 12 月 18 日 (金)
 - 会場 : 秋田県立大学本荘キャンパス K321 教室
 - 講演者 : 片桐 孝洋 氏 (東京大学 特任准教授)
 - 講演題目 : ソフトウェア自動チューニング : パソコンからスパコンまでの
先進最適化技術 - - 数値計算ライブラリを中心に - -
 - 参加者数 : 約 22 名
- 第 351 回研究講演会
 - 日程 : 平成 22 年 1 月 13 日 (水)
 - 会場 : 八戸工業大学 AV ホール
 - 講演者 : 新 誠一 氏 (電気通信大学 システム工学科 教授)
 - 講演題目 : 制御屋から見た組込み技術 ~ 組込み技術をソフト屋から取り戻せ ~
 - 参加者数 : 約 110 名

3.3 研究会

今年度は 6 回開催した。

- 平成 21 度 第 1 回研究会
 - 日程 : 平成 21 年 12 月 7 日 (月)
 - 会場 : 秋田大学産学連携推進機構 1 階会議室
 - 発表件数 : 13 件
 - 参加者数 : 55 名
- 平成 21 年度 第 2 回研究会
 - 日程 : 平成 21 年 12 月 15 日 (火)
 - 会場 : 八戸工業大学メディアセンター
 - 発表件数 : 14 件
 - 参加者数 : 32 名
- 平成 21 年度 第 3 回研究会
 - 日程 : 平成 21 年 12 月 25 日 (金)
 - 会場 : 岩手大学工学部 4 号館 (情報システム工学科棟) 106 室
 - 発表件数 : 23 件
 - 参加者数 : 48 名
- 平成 21 年度 第 4 回研究会
 - 日程 : 平成 22 年 2 月 6 日 (土)
 - 会場 : 日本大学工学部 (54 号館 5411 教室 (第 1 会場), 5412 教室 (第 2 会場))
 - 発表件数 : 20 件
 - 参加者数 : 42 名

- 平成 21 年度 第 5 回研究会
 - 日程 : 平成 22 年 2 月 12 日 (金)
 - 会場 : 東北学院大学 泉キャンパス 2 号館 2F 226 教室 (A 会場)・229 教室 (B 会場)
 - 発表件数 : 24 件
 - 参加者数 : 88 名
- 平成 21 年度 第 6 回研究会
 - 日程 : 平成 22 年 3 月 5 日 (金)
 - 会場 : 山形大学工学部 4 号館 1 階
113 (受付), 112 (A 会場), 114 (B 会場)
 - 発表件数 : 40 件
 - 参加者数 : 69 名

3.4 表彰

3.4.1 支部学生奨励賞

以下の 12 名が受賞した。

- 石原 拓美 (弘前大学理工学部電子情報工学科)
- 工藤 裕太郎 (八戸工業大学工学部システム情報工学科)
- 久保田 能揮 (岩手大学工学部情報システム工学科)
- 下川原 健 (岩手県立大学ソフトウェア情報学部経営情報システム学講座)
- 村上 龍希 (秋田大学工学資源学部情報工学科)
- 酒井 修二 (東北大学工学部電気情報・物理工学科)
- 伏見 侑恵 (東北工業大学工学部情報通信工学科)
- 吉田 悠亮 (仙台高等専門学校専攻科情報システム工学専攻)
- 渡部 和弘 (山形大学工学部情報科学科)
- 佐藤 翔平 (鶴岡工業高等専門学校制御情報工学科)
- 五十嵐 翔一 (会津大学コンピュータ理工学部コンピュータ理工学科)
- 清水 雄介 (福島大学理工学群共生システム理工学類)

3.4.2 支部奨励賞

以下の5名が受賞した。

- 東北支部連合大会
 - － 李 思瑶（岩手県立大学）
「固定頻出パターン集合を持つシステムにおける頻出パターン決定時点の検出に関する考察」
 - － 中山 誠也（東北大学）
「ノードの性能を考慮した階層型分散認証手法の設計と評価」
 - － 鈴木 絢子（東北大学）
「電子顕微鏡画像のための位相限定相関法を用いた倍率推定アルゴリズムの高精度化」
 - － 柴田 智恵子（秋田大学）
「ALOS AVNIR-2 による鳥海山沿岸海域における地下水湧出地点の検出」
- 研究会
 - － 大舘 賢史郎（秋田大学）
「画像特徴を考慮した情景画像における看板内文字列領域の抽出アルゴリズムに関する検討」

3.4.3 野口研究奨励賞

以下の1名が受賞した。

- 内澤 啓（東北大学 大学院情報科学研究科・助教）
「Exponential lower bounds on the size of constant-depth threshold circuits with small energy complexity」

3.5 支部だよりの発行

第223号から第226号まで4回発行。

4 その他特記事項等

4.1 共催

- 携帯電話フレームワーク Android（アンドロイド）実技講習会
日時：平成21年9月25日
場所：宮城教育大学附属小学校教職大学院ミーティング室
主催：KCみやぎ モバイルアプリケーション技術研究会，モバイル学会

4.2 後援

- 中学生のためのコンピュータ・グラフィクス講座
日時 : 平成 21 年 12 月 24 日, 25 日
場所 : 東北大学創造工学センター「発明工房」
主催 : 東北大学 サイバーサイエンスセンター

4.3 協賛

- 子ども科学キャンパス
日時 : 平成 21 年 7 月 30 日, 31 日, 10 月 13 日, 14 日
場所 : 東北大学創造工学センター「発明工房」
主催 : 東北大学, 仙台市教育委員会

監査結果報告

情報処理学会東北支部規約第7条5項の規定に基づき
平成21年度の当支部会計（収支決算）について、会計
帳簿及び証拠書類について監査した結果、適正かつ妥当
に処理されていたことを報告いたします。

平成22年 5月 7日

情報処理学会東北支部

監事 菊地正徳 

収入	平成21年度		備考
	予算	決算	
本部からの繰入相当額	1,830,000	1,830,000	予算-決算 0
支部交付金相当額	1,830,000	1,830,000	0
補助金収入	50,000	50,000	0
寄付金	50,000	50,000	0
雑収入(利息等)	3,000	583	2,417
当期収入合計(A)	1,883,000	1,880,583	2,417
前期繰越収支差額	1,913,125	1,913,125	0
収入合計(B)	3,796,125	3,793,708	2,417

仙台応用情報学研究振興財団

支出	平成21年度		備考
	予算	決算	
事業費	1,110,000	1,369,722	-259,722 (注1)(注2)
講演会	220,000	440,666	-220,666 (注1) 8回
研究会	250,000	253,220	-3,220 (注1) 6回
支部表彰	280,000	315,836	-35,836 (注1) 賞状, 副賞, 図書カード代等
連合大会	310,000	310,000	0 (注1) 連合事務局分担金, 連合大会分担金
セミナー支援	50,000	50,000	0 (注1) 子ども科学キャンパス協賛金
管理費	1,000,000	684,263	315,737 (注1)(注2)
役員会・幹事会	100,000	117,590	-17,590 (注1) 役員会1回, 幹事会1回
総会	180,000	174,380	5,620 (注1) 弁当代, 懇親会食事代, 受賞者旅費等
事務委託費	320,000	0	320,000 (注1)
広報発行	70,000	386,303	-316,303 (注1) ホームページ管理アルバイト・支部総会案内はがき代等
通信	20,000	0	20,000 (注1)
旅費	300,000	0	300,000 (注1)
雑費	10,000	5,990	4,010 (注1) 文具代等
当期支出合計(C)	2,110,000	2,053,985	56,015
当期収支差額(A-C)	-227,000	-173,402	-53,598
次期繰越収支差額(B-C)	1,686,125	1,739,723	-53,598

(注1) 差額の大半は経理方式・分類変更による見かけ上のもの

(注2) 事業費・管理費の区分は本部と異なる

平成21年度 情報処理学会東北支部 役員名簿

2009.5.27 現在

役職	氏名	前任者	所属
支部長	亀山 充隆	牧野 正三	東北大学大学院情報科学研究科
監事	菊地 正衡	再任	(株)NTTデータ東北
庶務幹事	新 秋山 正史	三瓶 一夫	NECソフトウェア東北
	福士 将	鈴木 基之	東北大学大学院情報科学研究科
会計幹事	山本 敏孝	斉藤 文雄	日本電気東北支社公共第一営業部
	新 住井 英二郎	本間 尚文	東北大学大学院情報科学研究科
広報幹事	新 庄司 貞雄	岡 敏幸	(株)日立東日本ソリューションズ
	阿部 亨	北形 元	東北大学サイバーサイエンスセンター学術情報研究部
評議員	牧野 正三	西関 隆夫	東北大学大学院工学研究科
	新 本間 尚文	福士 将	東北大学大学院情報科学研究科
	北形 元	和泉 勇治	東北大学電気通信研究所
	齋藤 稔	小野口 一則	弘前大学大学院理工学研究科電子情報システム工学専攻
	新 山口 広行	苫米地 宣裕	八戸工業大学システム情報工学科
	田中 寛	大窪 嘉壽	青森公立大学経営経済学科
	景山 陽一	西田 眞	秋田大学工学資源学部情報工学科
	小澤 一文	再任	秋田県立大学システム科学技術学部電子情報システム学科
	新 今野 晃市	藤本 忠博	岩手大学工学部電気電子・情報システム工学科
	布川 博士	再任	岩手県立大学ソフトウェア情報学部
	後藤 源助	再任	山形大学工学部情報科学科
	新 木下 哲男	再任	東北大学サイバーサイエンスセンター学術情報研究部
	小島 正美	再任	東北工業大学ライフデザイン学部経営コミュニケーション学科
	岩本 正敏	再任	東北学院大学工学部
	新 安藤 敏彦	千葉 慎二	仙台電波工業高等専門学校情報工学科
	齋藤 寛	再任	会津大学コンピュータ理工学部
	武内 惇	阿部 健一	日本大学工学部情報工学科
	斉藤 文雄	山本 敏孝	富士通株式会社東北営業本部
	新 三瓶 一夫	秋山 正史	(株)NTTデータ東北 企画総務部
	只野 徹	瓜生 広仁	(株)富士通東北システムズ 経営企画室

情報処理学会東北支部 平成22年度 役員改選結果

平成22年3月17日付で、本部事務局より亀山支部長へ平成22年度支部役員改選結果が通知された（2010情処総第49号）。

改選結果の詳細は以下のとおりである。

投票用紙発送数 : 547 件
（1月現在会費納入済の正会員および名誉会員）
投票数 : 147 票
投票率 : 26.9%

開票結果

役職	候補者 氏名	結果
支部長	木下 哲男	当選
監事	菊地 正衡	当選
庶務幹事	菅沼 拓夫	当選
会計幹事	山本 敏孝	当選
広報幹事	滝沢 寛之	当選

平成22年度 情報処理学会東北支部 役員名簿(案)

2010.5.19 現在

役職	氏名	前任者	所属	
支部長	新 木下 哲男	亀山 充隆	東北大学電気通信研究所	
監事	新 菊地 正衡	再任	(株)NTTデータ東北	
庶務幹事	秋山 正史	三瓶 一夫	NECソフトウェア東北	
	新 菅沼 拓夫	福士 将	東北大学電気通信研究所	
会計幹事	新 山本 敏孝	再任	日本電気東北支社公共第一営業部	
	住井 英二郎	本間 尚文	東北大学大学院情報科学研究科	
広報幹事	庄司 貞雄	岡 敏幸	(株)日立東日本ソリューションズ	
	新 滝沢 寛之	阿部 亨	東北大学大学院情報科学研究科	
評議員	新 亀山 充隆	牧野 正三	東北大学大学院情報科学研究科	
	新 福士 将		東北大学大学院情報科学研究科	
		本間 尚文	福士 将	東北大学大学院情報科学研究科
	新 阿部 亨	北形 元	東北大学サイバーサイエンスセンター学術情報研究部	
	新 斎藤 稔	再任	弘前大学大学院理工学研究科電子情報システム工学専攻	
		山口 広行	苫米地 宣裕	八戸工業大学システム情報工学科
			田中 寛	青森公立大学経営経済学科
	新 景山 陽一	再任	秋田大学大学院工学資源学研究科	
	新 猿田 和樹	小澤 一文	秋田県立大学システム科学技術学部電子情報システム学科	
		今野 晃市	藤本 忠博	岩手大学工学部電気電子・情報システム工学科
	新 布川 博士	再任	岩手県立大学ソフトウェア情報学部	
	新 平中 幸雄	後藤 源助	山形大学大学院理工学研究科	
		水木 敬明	木下 哲男	東北大学サイバーサイエンスセンターネットワーク研究部
	新 小島 正美	再任	東北工業大学ライフデザイン学部経営コミュニケーション学科	
	新 岩本 正敏	再任	東北学院大学工学部	
		安藤 敏彦	千葉 慎二	仙台高等専門学校情報システム工学科
	新 成瀬 継太郎	齋藤 寛	会津大学コンピュータ理工学部	
新 岩井 俊哉	武内 惇	日本大学工学部情報工学科		
新 高橋 裕美	斉藤 文雄	富士通株式会社東北営業本部		
		三瓶 一夫		
新 只野 徹	再任	(株)富士通東北システムズ 経営企画室		
新 富樫 敦		宮城大学事業構想学部デザイン情報学科		

平成22年度事業計画（案）

1 支部総会

日程 : 平成22年5月19日(水) 11:30 ~ 12:30

会場 : 東北大学工学部電子情報システム・応物系 103 会議室

2 役員会等

役員会 : 1 ~ 2 回程度開催予定

幹事会 : 1 ~ 2 回程度開催予定

3 各種事業（行事、表彰等）

研究講演会 : 10 回程度開催予定

研究会 : 5 回程度開催予定

支部奨励賞 : 5 名程度表彰予定

支部学生奨励賞 : 10 名程度表彰予定

支部野口研究奨励賞 : 1 名程度表彰予定

収入	平成21年度		平成22年度 予算	備考
	予算	決算		
本部からの繰入相当額	1,830,000	1,830,000	1,830,000	
支部交付金相当額	1,830,000	1,830,000	1,830,000	
補助金収入	50,000	50,000	50,000	
寄付金	50,000	50,000	50,000	
雑収入(利息等)	3,000	583	1,000	
当期収入合計(A)	1,883,000	1,880,583	1,881,000	
前期繰越収支差額	1,913,125	1,913,125	1,739,723	
収入合計(B)	3,796,125	3,793,708	3,620,723	

支出	平成21年度		平成22年度 予算	備考
	予算	決算		
事業費	1,110,000	1,369,722	1,383,000	
講演会	220,000	440,666	480,000	8 回分
研究会	250,000	253,220	240,000	6 回分
支部表彰	280,000	315,836	303,000	
連合大会	310,000	310,000	310,000	
セミナー支援	50,000	50,000	50,000	
管理費	1,000,000	684,263	720,000	
役員会・幹事会	100,000	117,590	120,000	
総会	180,000	174,380	170,000	
事務委託費	320,000	0	0	
広報発行	70,000	386,303	420,000	アルバイト・はがき代等
通信	20,000	0	0	
旅費	300,000	0	0	
雑費	10,000	5,990	10,000	
当期支出合計(C)	2,110,000	2,053,985	2,103,000	
当期収支差額(A-C)	-227,000	-173,402	-222,000	
次期繰越収支差額(B-C)	1,686,125	1,739,723	1,517,723	

※平成21年度予算と決算見込差額の大半は経理方式・分類変更による見かけ上のもの

※事業費・管理費の区分は本部と異なる

平成22年度 電気関係学会東北支部連合大会 実施計画

1 実施計画の概要

- 主催学会 : 電気学会, 電子情報通信学会, 照明学会, 日本音響学会
映像情報メディア学会, 情報処理学会, 電気設備学会 (各東北支部)
IEEE Sendai Section
- 幹事学会 : 情報処理学会
- 大会期日 : 平成22年8月26日(木) ~ 27日(金)
- 大会会場 : 八戸工業大学
(〒031-8551 八戸市大字妙字大開 88-1)

2 大会日程

日程	月日	内容		
第1日目	8月26日(木)	午前	一般講演	展示会
		午後	一般講演 特別講演 (夜:懇親会)	
第2日目	8月27日(金)	午前	一般講演	展示会
		午後	一般講演	

3 一般講演

- 日時 : 8月26日(木) 9:00 ~ 15:00
8月27日(金) 9:00 ~ 17:00
- 講演内容 : 各専門分野で最近行った研究の発表, 各専門分野で最近行った工事報告, 現場実験報告, 新製品の紹介等

4 特別講演

- 日時 : 8月26日(木) 午後
- 場所 : 未定
- 講師 : 栗村 知弘 氏 (八戸縄文保存協会 会長)
- 演題 : 国宝「合掌土偶」と漆文化について

5 懇親会

日時 : 8月26日(木) 18:00 ~ 20:00 (予定)

場所 : 未定

会費 : 一般 : 5,000 円 , 学生 : 3,000 円 (予定)

6 展示会 (製品カタログ展示)

場所 : 八戸工業大学キャンパス

7 現地担当実行委員

現地実行委員長 : 藤田 成隆

(大会副委員長)

現地実行幹事 : 栗原 伸夫 , 武山 泰 , 山口 広行

現地実行委員 : 高橋 良英 , 小坂谷 壽一 , 嶋脇 秀隆 , 山本 忠 ,
藤岡 与周 , 笹原 徹 , 清水 能理 , 小玉 成人 ,
伊藤 智也 , 本田 和也 , 山日 康之

平成22年4月30日

推薦論文制度の改訂と論文誌特集号について

社団法人 情報処理学会
論文誌ジャーナル/JIP編集委員会
委員長 田中 譲
副委員長 宗森 純

昨今、ジャーナル/JIP 論文誌編集委員会では、掲載論文数が減少傾向にあるためその対策として、特集号・推薦論文につき検討し、以下のとおり推薦論文制度を改訂いたしました。優れた論文のご推薦をこれまでよりも一層広い範囲から求めるべく提案母体の拡充をいたしましたので、是非、本制度をご利用いただければと存じます。

なお、ここでいう優れた論文とは、学術的に大きな意義と新規性を持ち、未発表であること、その主張の妥当性が明白かつ客観的に示されている論文を指します。国際的競争の中にあつて緊急性を要する課題に関する新しい重要な学術的成果に関する論文で、実際の応用環境における有用性評価に多大な時間を要することが明らかな場合には、速報性を重視する観点から、論理的妥当性は十分に示されていないものの実評価が充分とは言えない論文も、優れた論文と認める場合があります。

▶ 推薦論文の提案母体の拡充

これまでの各イベントからの推薦（A：各イベントからの推薦）に加え、1年間の発表の中からもご推薦いただけるようになりました。研究会または支部主催で開催されたイベントの1年間のご発表よりご推薦ください。これを以下のように呼びます。

B：研究会および支部による1年間の発表の中からの推薦

イベント毎の推薦もこれまで通り受け付けております。ひとつひとつのイベントの規模が小さく単独のイベントでは推薦が困難であったもの、支部の場合は、支部大会の2ページのものを基としていただけますので、是非ご推薦ください。

さらに、これまで国際会議からの推薦に関しては、本会主催のものにかぎられていたところを、本会共催の国際会議まで含めることにしました。

▶ 年間発表からの推薦の論文投稿期限

「B：研究会および支部による1年間の発表の中からの推薦」が承認されたものは、発表後24ヶ月まで投稿いただくことが可能です。

また、特集号の企画提案に関しましては、提案者や予想投稿数の規模に制限はございません。具体的には、例えば

- ・ 特定領域研究、ERATO、国主導のプロジェクトなどの大型プロジェクトの成果に関する特集
- ・ シンポジウムや国際会議を母体とした特集
- ・ 情報処理分野が今後進むべき方向に関する特集：例えばグリーンIT特集

- ・ 情報処理分野全体にまたがる特集や、いまは萌芽段階であるが、これから重要となりそうな分野に関する特集
 - ・ 3つの領域（コンピューターサイエンス、情報環境、フロンティア）の各々で最近話題になっている研究内容に関する特集
- などのような特集号の企画を期待し、ご提案をお待ちいたしております。

推薦論文制度

(変更箇所：下線部分)

1997年7月1日制定
2010年4月21日改訂(10)

本会主催の研究会、シンポジウム、ワークショップ、本会が主催ないし共催する国際会議、および支部主催シンポジウムにおいて発表された論文の中で、主催者またはプログラム委員会が優秀な論文と認定した論文を「推薦論文」と呼ぶ。推薦論文には、各イベントからの推薦と、研究会および支部による1年間の発表の中からの推薦との2つがある。

A: 各イベントからの推薦

主催者またはプログラム委員会は、「推薦論文」を以下の手続きに従って論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会に推薦することができる。ただし、推薦者は下記の通りである。

研究会：研究会主査*

シンポジウム：プログラム委員長または主催する研究会の主査*

ワークショップ：プログラム委員長または主催する研究会の主査*

国際会議：本会会員のプログラム委員長または主催・共催する本会研究会の主査*

支部主催シンポジウム：プログラム委員長または主催する支部の支部長

*研究会、シンポジウム、ワークショップ、国際会議については、推薦が総意によってなされたことが分かる書類を添付することで、指定された推薦人の代理人をたてることを認める。

以下、推薦から査読そして掲載に至る手続きを述べる。

(1) 研究会主査／支部長／プログラム委員長は、推薦者として推薦論文推薦書を論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会に提出する。なお、各イベントあたりの推薦論文数は、発表論文のうち、ページ数が6ページ以上の論文の総数の10%以内とする。

(2) 論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会は推薦者に、推薦論文の審査を担当する特別編集委員を委嘱する。ただし、支部主催シンポジウムの場合は推薦者が特別編集委員を推薦し委嘱する。推薦者は、論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会が規定するプロセスに従い査読する。なお、特別編集委員は、担当する推薦論文が判定される論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会小委員会に可能な限り参加し、判定に関する説明を行うものとする。

(3) 推薦論文が採録になった場合には、推薦論文を掲載する際、論文タイトルの脚注に下記の推薦文を添える。「本論文の内容は〇〇年〇月の〇〇〇〇研究会／シンポジウム／ワークショップ／国際会議／支部主催シンポジウムにて報告され、同研究会主査／支部長／プログラム委員長により情報処理学会論文誌ジャーナルへの掲載が推薦された論文である」。推薦論文の英語名は Recommended Paper とする。

(4) 推薦論文が不採録になった場合には、その時点で推薦論文としての処理は終了する。

(5) 推薦論文推薦書の提出締切は、上記本会主催イベントの終了後6ヵ月以内とする。推薦論文の投稿

締切は上記本会主催イベントの終了後 12 ヶ月以内とする。

B：研究会および支部による1年間の発表の中からの推薦

「推薦論文」を以下の手続きに従って論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会に推薦することができる。発表後の推薦投稿の有効期限はいずれも24 ヶ月以内とする。

(b-1) 研究会による推薦論文

- (1) 1年間の研究会における発表の中から、主査、幹事による選定を経て、2編を主査・幹事全員の連名で推薦可能とする。(研究会が主催するシンポジウムからの推薦論文数は外数)(日本語、英語2編ずつの枠)
- (2) 研究会は、論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会が割り振った推薦時期に推薦を行うものとする。
- (3) 論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会は、推薦書の推薦者のうちあらかじめ特別編集委員に指定してある1名に、推薦論文の審査を担当する特別編集委員を委嘱する。特別編集委員は、論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会が規定するプロセスに従い査読する。なお、特別編集委員は、担当する推薦論文が判定される論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会小委員会に可能な限り参加し、判定に関する説明を行うものとする。
- (4) 推薦論文が採録になった場合には、推薦論文を掲載する際、論文タイトルの脚注に下記の推薦文を添える。「本論文の内容は〇〇年〇月の〇〇〇〇研究会/シンポジウム/ワークショップにて報告され、同研究会主査・幹事全員(全員)により情報処理学会論文誌ジャーナルへの掲載が推薦された論文である」。推薦論文の英語名は Recommended Paper とする。
- (5) 推薦論文が不採録になった場合には、その時点で推薦論文としての処理は終了する。

(b-2) 支部による推薦論文

- (1) 各支部で毎年2編の論文を支部会で選定し、支部長名で推薦可能とする。支部大会の2ページのものをもととしてよい(日本語、英語2編ずつの枠)
- (2) 支部は論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会が割り振った推薦時期に推薦を行うものとする。
- (3) 論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会は推薦者に、推薦論文の審査を担当する特別編集委員を委嘱する。ただし、支部主催シンポジウムの場合は推薦者が特別編集委員を推薦し委嘱する。推薦者は、論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会が規定するプロセスに従い査読する。なお、特別編集委員は、担当する推薦論文が判定される論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会小委員会に可能な限り参加し、判定に関する説明を行うものとする。
- (4) 推薦論文が採録になった場合には、推薦論文を掲載する際、論文タイトルの脚注に下記の推薦文を添える。「本論文の内容は〇〇年〇月の支部研究会/支部主催シンポジウム等にて報告され、支部長により情報処理学会論文誌ジャーナルへの掲載が推薦された論文である」。推薦論文の英語名は Recommended Paper とする。
- (5) 推薦論文が不採録になった場合には、その時点で推薦論文としての処理は終了する。

本制度は2010年4月1日より適用する。

平成 年 月 日

論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会 御中

推薦論文推薦書

研究会/シンポジウム/ワークショップ/国際会議/支部主催のシンポジウム/支部大会等
研究会主査/支部長/プログラム委員長：〇〇〇〇

推薦論文として下記の論文を推薦いたします。

題目：

著者：

著者連絡先：

出典、開催日：

推薦理由：

著者の同意：得ている。これから得る。

推薦率（推薦元イベントの発表論文中、推薦論文数の割合）： %

備考欄：

特別編集委員（支部主催シンポジウムの場合）：

以上